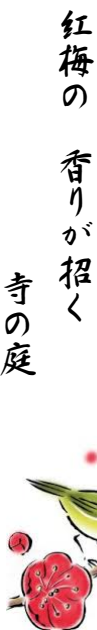


2015/02/星祭
〒496-0851
津島市神明町2
電 0567-25-4154
F 0567-25-4199



元旦から八日までの御開帳には、大勢の皆様が初参り頂き、本尊様もお喜びとございます。
もう節分。毎年この頃になると、寒さで身を縮めている私に、紅梅白梅が「もう春が来たぞ。」と知らせてくれます。
二月は蠟梅や水仙が盛りを迎え、三月には庭中のユキノシタや黄水仙が、そして四月には枝垂れ桜が満開となります。天王川の藤まつりの頃には、一昨年作った当院の藤の棚にも沢山の花が咲くのを楽しみにしています。



紅梅の 香りが招く
寺の庭
宥宏

常楽会 (涅槃会)

二月十五日 十一時涅槃像(奉前)で厳修

御釈迦様が沙羅の花 咲き乱れる中で最後の説法をされて、八十歳の生涯を終えられました。その時 金色に輝かれたと言われえられています。故に仏像が金色です。涅槃(ねはん)とは、お釈迦さまの入滅(にゆうめつ)と、お釈迦さまが完全な悟りを得たことを指しますが、私たちの宗派ではこの涅槃会を、煩惱を滅し涅槃を得たお釈迦さまの徳性を表す四徳「常・楽・我・浄」から、その前の二字「常楽」をとって「常楽会」と呼んでいます。「常」とは永遠に変わらぬこと、「楽」とは苦悩がなく安らかなこと、「我」とはなにもにも縛られず自由自在であること、「浄」とは一切の汚(よごれ)を離れていることです。

正御影供・寺宝展

三月二十一日 9時から4時

この日は弘法大師様の命日です。六十歳で高野山の奥の院御廟に埋葬され今も我々を見守り 導いて下さっています。

二千五百年前の御釈迦様の教えが佛教です。日本では弘法大師によって、仏教は広まり庶民が救われました。

この正御影供には、大師堂にてお参りの方にパンやお菓子がほどこされます。また、光明殿にて当院宝物を展示して、文化財や掛け軸を皆様に広く観て頂きます。写経会も併せて開催しますので、ぜひお出かけください。お待ちしております。心を集中して 写経をしますと、一字一字に仏様が宿り、心の平和を 得ることができます。年に一度の行事です。一時間程お暇を作ってください。

宝寿院毎月行事

- ★ 一・八・十五日 十時護摩祈祷法話
- ★ 二十一日 十時 弘法様法要 写経会
- ★ 二十四日 十時 水子供養

その他随時

- ★ 安産祈祷
- ★ 運動・家相談
- ★ 車の交通安全祈祷
- ★ 地鎮祭・完成式出張お祓い
- ★ 動物供養
- ★ 命名